

平成29年度 第4回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には、依然堅調に推移しているものの、受注量の増加傾向は一段落で、一部では受注が飽和状態になっており、受注を控えて、既存取引を見直す動きもある。今後の受注見通しについては、やや慎重な見通しとなっている。昨年来、リニアガイド等機械要素部品の需給が逼迫しており、これらの部品、特殊材料、一部の電子部品の不足による納期遅れや生産中止等が、堅調に推移している中小企業の受注に及ぼす悪影響が懸念される。

<項目別の特徴>

- (1) 受注量 : 前回まで増加基調で推移していた受注量は、一段落の状況となった。
- (2) 受注見通し : 前回に比べて「増加」の割合が減少しているものの、堅調な横ばい傾向となっている。
- (3) 受注単価 : ほとんど変化は見られない。
- (4) 資金繰り : 大きな変化はなく、「好転」+「不変」の回答は、前回は引き続き、近年では最も多くなっている。
- (5) 採算状況 : 「赤字」企業数は、近年では最少となっている。
- (6) 受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が55.0%と、前期と比較して0.3ポイントの増加となった。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成30年1月～3月
(平成30年3月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

平成30年3月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

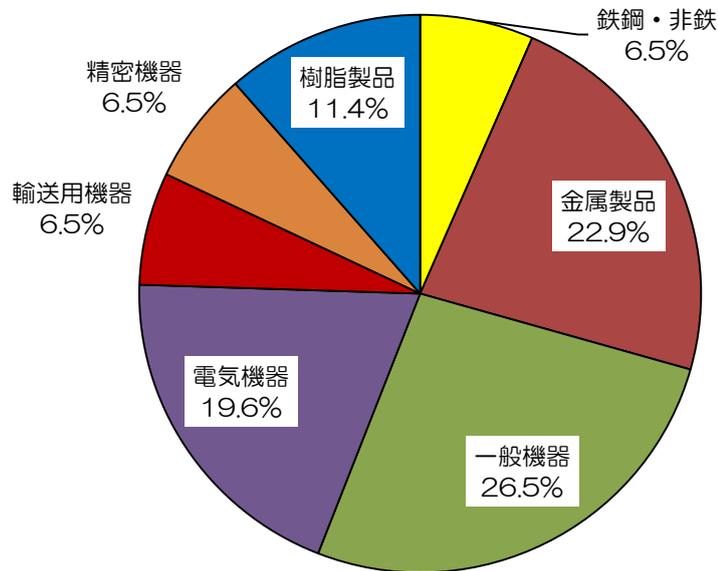
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	245社		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	16社	（ 6.5% ）
	金属製品関係	56社	（ 22.9% ）
	一般機器関係	65社	（ 26.5% ）
	電気機器関係	48社	（ 19.6% ）
	輸送用機器関係	16社	（ 6.5% ）
	精密機器関係	16社	（ 6.5% ）
	樹脂製品関係	28社	（ 11.4% ）
④ 回答率	81.7%	〔前回：81.7%〕	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	7 2.9%		1 1.8%		3 6.3%			3 10.7%
~300万円	13 5.3%		4 7.1%	1 1.5%	3 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	2 7.1%
301~999万円	11 4.5%		3 5.4%	5 7.7%		1 6.3%		2 7.1%
1000~2000万円	139 56.7%	8 50.0%	36 64.3%	42 64.6%	26 54.2%	4 25.0%	10 62.5%	13 46.4%
2001~5000万円	58 23.7%	5 31.3%	11 19.6%	15 23.1%	13 27.1%	3 18.8%	4 25.0%	7 25.0%
5000万円超	17 6.9%	3 18.8%	1 1.8%	2 3.1%	3 6.3%	6 37.5%	1 6.3%	1 3.6%
合 計	245 100%	16 100%	56 100%	65 100%	48 100%	16 100%	16 100%	28 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

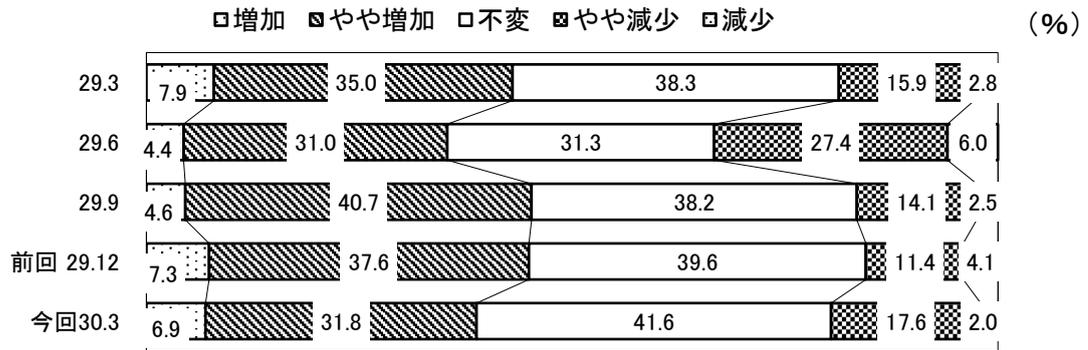
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 8.2%	4 25.0%	4 7.1%	5 7.7%	3 6.3%			4 14.3%
6~10人	28 11.4%	1 6.3%	4 7.1%	8 12.3%	6 12.5%	3 18.8%	3 18.8%	3 10.7%
11~20人	72 29.4%	2 12.5%	21 37.5%	26 40.0%	9 18.8%	1 6.3%	4 25.0%	9 32.1%
21~30人	33 13.5%	3 18.8%	10 17.9%	7 10.8%	6 12.5%	1 6.3%	2 12.5%	4 14.3%
31~50人	39 15.9%	3 18.8%	8 14.3%	10 15.4%	10 20.8%	3 18.8%	3 18.8%	2 7.1%
51人以上	53 21.6%	3 18.8%	9 16.1%	9 13.8%	14 29.2%	8 50.0%	4 25.0%	6 21.4%
合 計	245 100%	16 100%	56 100%	65 100%	48 100%	16 100%	16 100%	28 100%

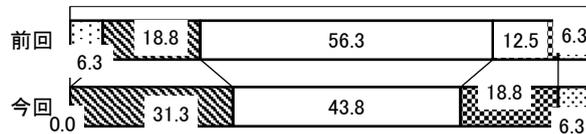
3. 調査結果

(1) 受注量について

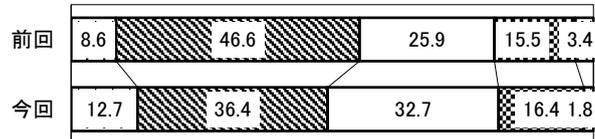
①全体



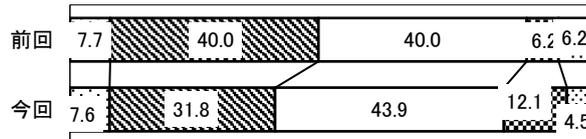
②鉄鋼・非鉄



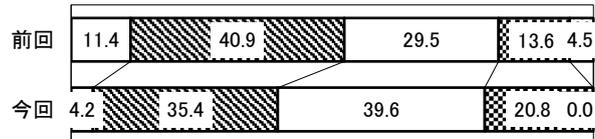
③金属製品



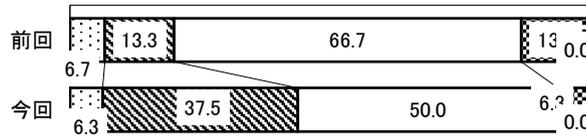
④一般機器



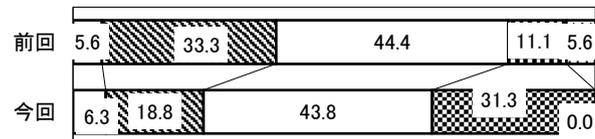
⑤電気機器



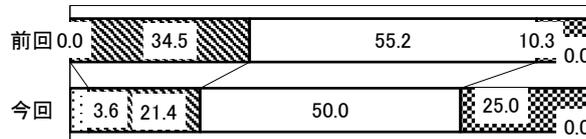
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・1月～3月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は19.1となり、前期（10月～12月期）のD I値29.4と比べ10.3ポイント減少、前回まで増加基調で推移していた受注量は、一段落の状況となった。

○業種別

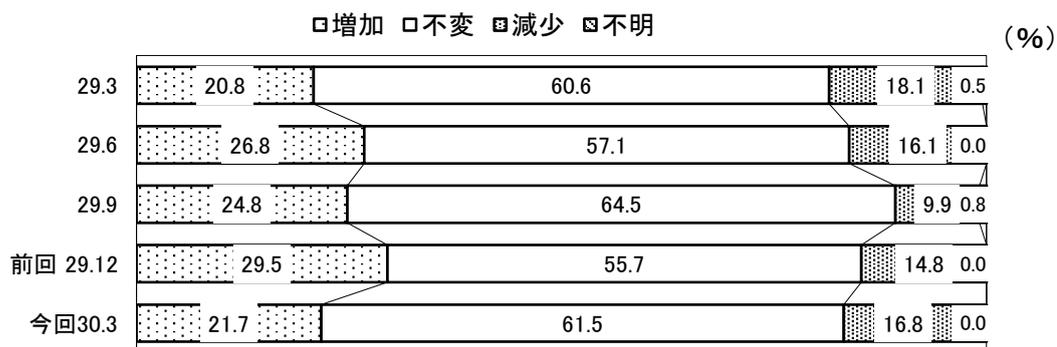
・D I値は、輸送用機器（37.5）、金属製品（30.9）、一般機器（22.8）、電気機器（18.8）、鉄鋼・非鉄（6.2）と5業種でプラスとなった。樹脂製品（24.2）は前回と変わらず、精密機器（▲6.2）のみマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、プラス値となったのは、輸送用機器のみで、6.7から37.5と30.8ポイント増加。他6業種でマイナス値となった。精密機器22.2から▲6.2と▲28.4ポイント、樹脂製品24.2から±0と▲24.2、電気機器34.2から18.8と▲15.4ポイント、一般機器35.3から22.8と▲12.5ポイント、金属製品36.3から30.9と▲5.4ポイント、鉄鋼・非鉄6.3から6.2と▲0.1ポイント低下した。

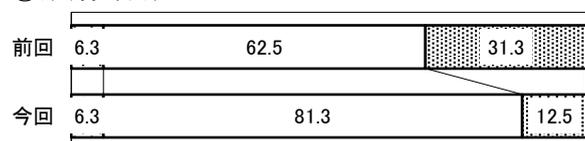
・精密機器、樹脂製品の2業種が大きく低下している。

(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)

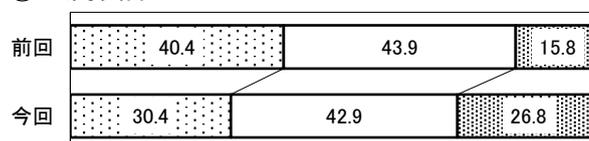
①全体



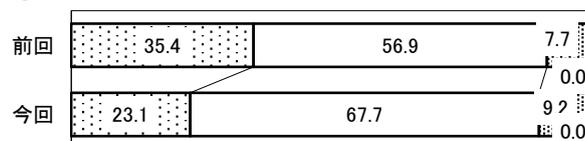
②鉄鋼・非鉄



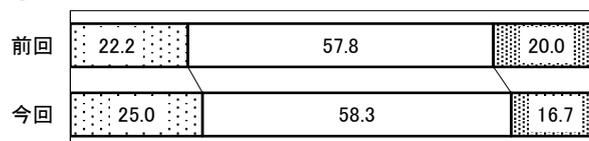
③金属製品



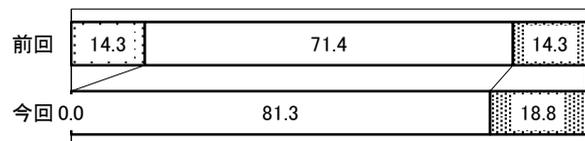
④一般機器



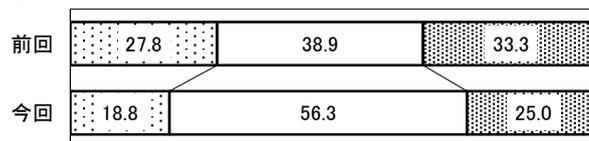
⑤電気機器



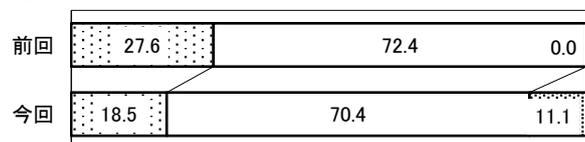
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期(4月~6月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は4.9となり、前期調査時のD I 値14.7と比べ9.8ポイント低下した。前回に「増加」が近年では最も高い割合となった受注量の見通しは、割合が減少しているものの堅調な横ばい傾向となっている。

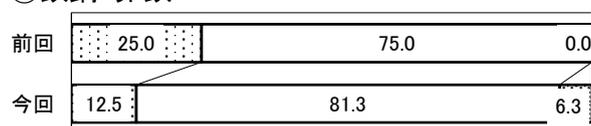
○業種別

- ・業種7分類中D I 値がプラスであったのは、一般機器(13.9)、樹脂製品(7.4)、電気機器(8.3)、金属製品(3.6)、の4業種で、鉄鋼・非鉄(▲6.2)、精密機器(▲6.2)、輸送用機器(▲18.8)の3業種はマイナスであった。
- ・D I 値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄で▲25.0から▲6.2(18.8ポイント)、電気機器で2.2から▲8.3(6.1ポイント)と2業種で上昇。精密機器で▲5.5から▲6.2(▲0.7ポイント)、一般機器で27.7から13.9(▲13.8ポイント)、輸送用機器で±0から▲18.8(▲18.8ポイント)、樹脂製品で27.6から▲7.4(▲20.2ポイント)、金属製品で24.6から3.6(▲24.0ポイント)と、5業種で低下している。
- ・5業種で「増加」の割合が大きく減少、3業種で「減少」の割合が減少した。

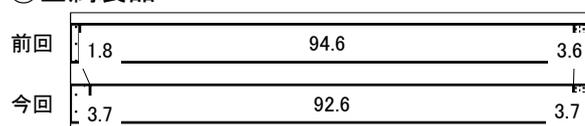
(3) 受注単価について



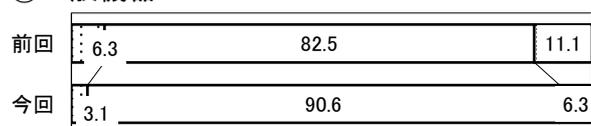
②鉄鋼・非鉄



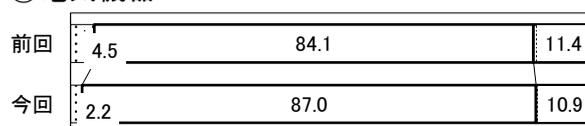
③金属製品



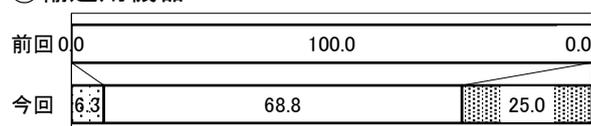
④一般機器



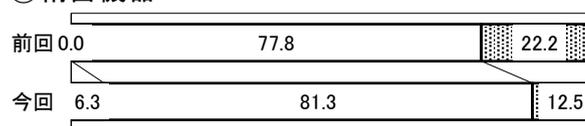
⑤電気機器



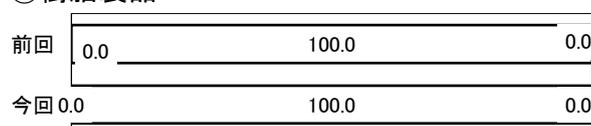
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・1月～3月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲3.7となり、前期（10月～12月期）のDI値▲2.9と比べて0.8ポイント低下と、ほとんど変化は見られない。

○業種別

- ・7業種中、DI値は、前年に引き続き鉄鋼・非鉄（6.2）の1業種でのみプラスであった、全て「不変」との回答であった樹脂製品と金属製品の2業種は（±0）となり、一般機器（▲3.2）、精密機器（▲6.2）、電気機器（▲8.7）、輸送用機器（▲18.4）の4業種でマイナスであった。
- ・DI値を前期と比較すると、精密機器（16.0ポイント）、金属製品（1.8ポイント）、一般機器（1.6ポイント）の4業種で前期比プラスとなった。樹脂製品（±0ポイント）は前年に引き続き変化がなく、電気機器（▲1.8ポイント）、輸送用機器（▲18.7ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲18.8ポイント）の3業種で前期比マイナスとなった。
- ・鉄鋼・非鉄で「上昇」の回答が大きく減少し、輸送用機器で「低下」の回答が大きく増加した。

(4) 資金繰りについて

①全体



②鉄鋼・非鉄

前回	12.5	75.0	12.5
今回	12.5	75.0	12.5

③金属製品

前回	17.5	75.4	7.0
今回	14.3	78.6	7.1

④一般機器

前回	13.8	81.5	4.6
今回	10.8	84.6	4.6

⑤電気機器

前回	11.1	84.4	4.4
今回	4.2	89.6	6.3

⑥輸送用機器

前回	0.0	93.3	6.7
今回	0.0	93.8	6.3

⑦精密機器

前回	11.1	77.8	11.1
今回	6.3	87.5	6.3

⑧樹脂製品

前回	17.2	79.3	3.4
今回	14.8	81.5	3.7

○全体

・1月～3月期の資金繰りの業況判断D I（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は3.7となり、前期（10月～12月期）のD I 7.4と比べて3.7ポイントの低下とやや低下したが、「好転」+「不変」の回答は、前回に引き続き、近年では最も多くなっている。

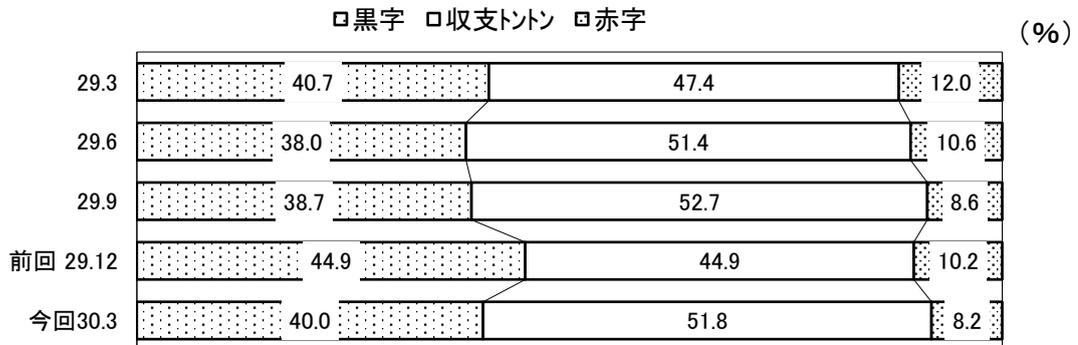
○業種別

・業種7分類中D I値がプラスであったのは、樹脂製品（11.1）、金属製品（7.2）、一般機器（6.2）の3業種。前回と同回答の鉄鋼・非鉄と、精密機器は±0。電気機器（▲2.1）、輸送用機器（▲6.3）の2業種でマイナスとなっている。

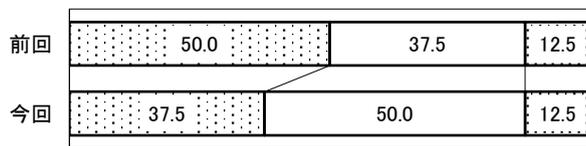
・D I値を前期と比較すると、輸送用機器（0.4ポイント）のみで上昇しており、鉄鋼・非鉄（0ポイント）と精密機器（0ポイント）の2業種が変化なし、樹脂製品（▲2.7ポイント）、一般機器（▲3.0ポイント）、金属製品（▲3.3ポイント）、電気機器（▲8.8ポイント）の4業種が低下している。

(5) 採算状況について

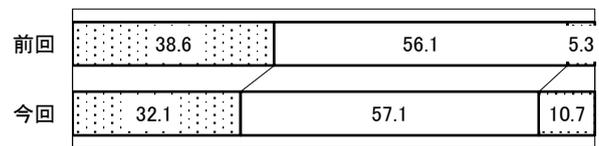
①全体



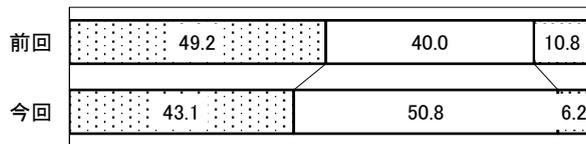
②鉄鋼・非鉄



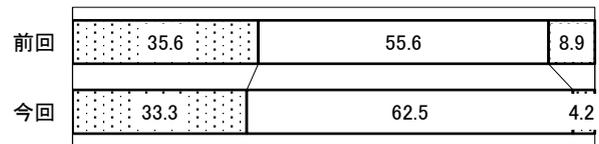
③金属製品



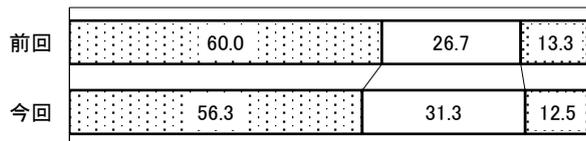
④一般機器



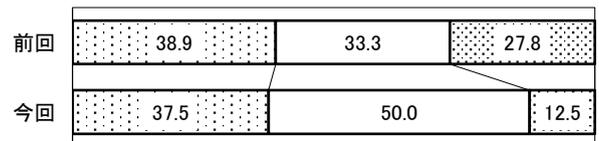
⑤電気機器



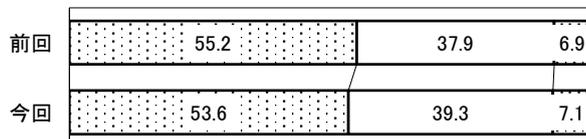
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



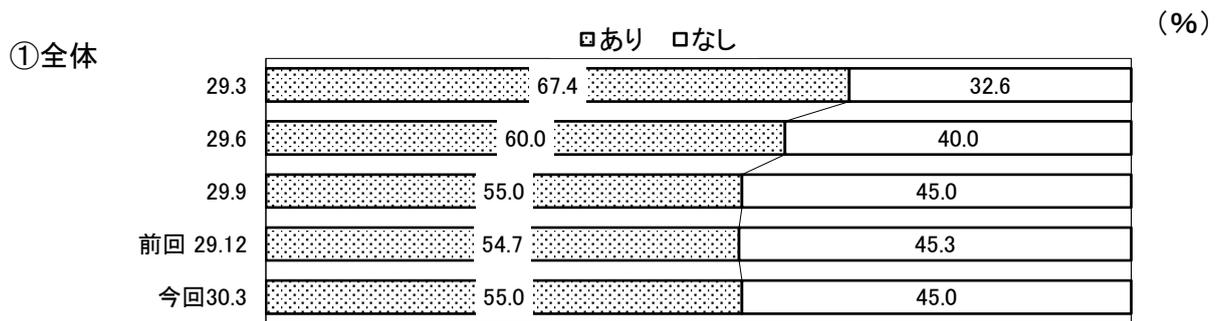
○全体

・1月～3月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は31.8となり、前期（10月～12月期）のD I値34.7と比べ2.9ポイント低下したが、「赤字」企業数は近年では最少となっている。

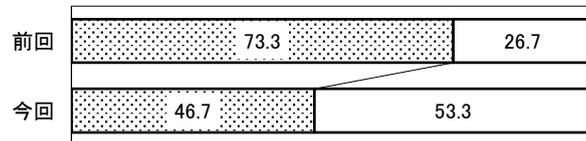
○業種別

- ・D I値は、樹脂製品（46.5）、輸送用機器（43.8）、一般機器（36.9）、電気機器（29.1）、鉄鋼・非鉄（25.0）、精密機器（25.0）金属製品（21.4）と前回に続き、全7業種でプラスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、精密機器（13.9ポイント）、電気機器（2.4ポイント）の2業種で改善傾向が見られたが、一般機器（▲1.5ポイント）、樹脂製品（▲1.8ポイント）、輸送用機器（▲2.9ポイント）、金属製品（▲11.9ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲12.5ポイント）の5業種は、悪化傾向となった。
- ・全7業種で、黒字企業の割合が減少した。
- ・鉄鋼・非鉄、一般機器、電気機器、輸送用機器、精密機器の5業種では、「赤字」企業が減少している。

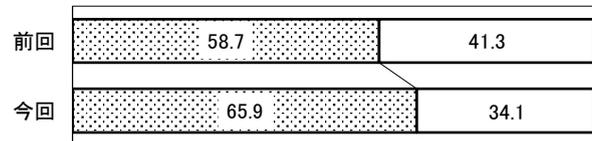
(6) 受注余力について



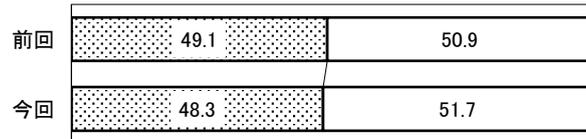
②鉄鋼・非鉄



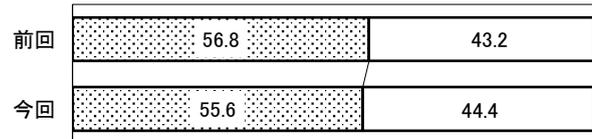
③金属製品



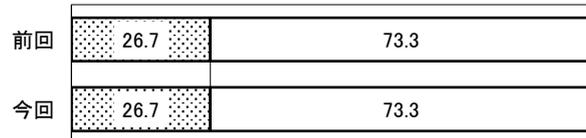
④一般機器



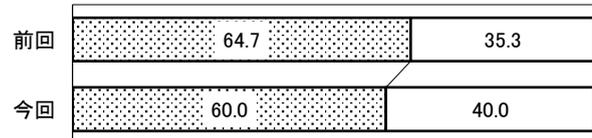
⑤電気機器



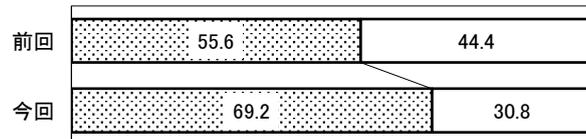
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・1月～3月期の採算状況の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は10.0となり、前期(10月～12月期)のD I値9.4と比べ0.6ポイント上昇した。(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)
- ・1月～3月期は「受注余力あり」とする企業が55.0%と、前期と比較して0.3ポイントの増加となった。

○業種別

- ・業種7分類中D I値がプラスであったのは、樹脂製品(38.4)、金属製品(31.8)、精密機器(20.0)、電気機器(11.2)の4業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。一般機器(▲3.4)、鉄鋼・非鉄(▲6.6)、輸送用機器(▲46.6)の3業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を下回っている。
- ・D I値を前期と比較すると、樹脂製品(27.2°イット)、金属製品(14.4°イット)の2業種は、前回比プラスとなり、「受注余力あり」が増加している。輸送用機器(±0)は、前回と変わらず、一般機器(▲1.6°イット)、電気機器(▲2.4°イット)、精密機器(▲9.4°イット)、鉄鋼・非鉄(▲53.2°イット)の4業種は、前回比マイナスとなり、「受注余力あり」が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp